

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	77	学 校 名	浜松大平台高等学校(全日制)	校 長 名	左口 邦彦
------	----	-------	----------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。	「将来に対する夢や希望を持っている」 70%以上 R5:75% R4:72% R3:77% R2:78%	進路ガイダンスや模擬試験を活用して、自分の学力を理解し、自己の進路について考えることができた。 70%	A	・科目選択を通して、自分の進路についてよく考えるようになった。 ・産業と社会の授業では、どのような進路を描きたいか、どんな大人でいたいかなど、子どもたちの素直な思いを引き出すことができた。 ・常葉大学・マイナビ・ライセンスアカデミー・キッズコーポレーションなどに協力していただき、外部講師による進路指導、講演を行った結果、自発的に進路に向かう生徒が多く見られた。 ・オープンキャンパスや学校説明会へ参加する生徒が多くいた。まだ、進路希望が未定な生徒も一定数いる。 ・進路ガイダンス等を通して、生徒は進学や就職等、進路希望を具体的に考えることができた。
		各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。	Future しずおか（外部講師）や進路別ガイダンス等を通して、より深く理解をする姿が見られた。	A	・系列を繋ぐ探究の連携活動ができた。 ・複数の地元企業の協力を得て「地域で活躍できる人材の育成」に繋がった。 ・地域の専門学校から講師を招き、専門的な授業が展開できた。（芸術科） ・1人1テーマで実験を計画・実施し、生徒の進路や興味に合わせた学習を行えた。 ・Future しずおかでは職業人から生の声を聞くことができた。

		「自分にはよいところがある」80%以上 R5:82% R4:81% R3:83% R2:79% 「ボランティア活動をしたことがある」20%以上 R5:35% R4:29% R3:42% R2:46%	「自分にはよいところがある」82% 「ボランティア活動等には進んで参加をしている」33%	A	・農業クラブ活動で、多くの生徒が県大会入賞を果たした。 ・150名程度の参加となる。ボランティア部員が21名ということを見ると、評価できる。
		「自分の希望する進路が実現できた」(3年次生のみ)80%以上 R5:92% R4:88%	進学補講や模擬試験、面接指導などを通して、進路実現の手助けを行った。 「自分の希望する進路が実現できた」(3年次生のみ)93%	A	・ほとんどの生徒が自分の希望する進路先を決定することができた。(1月15日現在 未決定者8名) ・生徒は積極的に面接指導を受け進路実現に対して真剣に取り組んだ。 ・12月末現在、例年通りの割合で、生徒の進路は実現できている。 ・面接指導や小論文指導を積極的に行い、こどもたちの進路実現に貢献することができた。
イ	基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。	到達度テスト正答率60%以上 R5:1年63% 2年63% 3年62% R4:1年55% 2年54% 3年54% R3:1年54% 2年54% 3年61% 「授業がわかる」70%以上 R5:80% R4:86% R3:86% R2:86%	到達度テスト3教科正答率 1年次55.2% 2年次56.2% 3年次進学39.9% その他65.1% 「授業がわかる」88%	A	・到達度テスト国語は全年次正解率60%以上の目標値は達成できた。 ・単元ごとに小テストを実施し、学習内容の振り返りを単元ごとに図った。また、獲得した知識を基に、単元ごとの振り返りシートを作成し、学習記録をポートフォリオ化して学びなおせる仕組みを構築した。

ウ	文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	朝読書をとおし て、読書に親し んだ 70%以上 「図書委員・先 生方のおすす めの本」を定 期的に発行(サ イネージで周 知した)	朝読書で読ん だ本の数 年 間 5 冊以上の 生徒 27% 「図書委員・先 生方のおすす めの本」を発行 (サイネージ 表示)	B	・担任の先生方のご指導により、 毎朝落ち着いた雰囲気の中で読 書に取り組むことができた。本 の頁数によるのが、できればも う少し多くの本を読んでもらえ るようにしたい。
エ	授業や学校行事など において、他者と協働 して意見交換する機 会を多く設ける。	「他者の意見 を聞き、自分の 考えを深める ことができた」 60%以上 R5:86% R4:87% R3:88% R2:85%	「産業社会と 人間」の授業 (探究学習)、 修学旅行での、 平和学習、防災 学習)を実施し た。 「他者の意見 を聞き、自分の 考えを深める ことができた」 86%	A	・ペアワークやグループワーク を授業内で積極的に実践し、他 社の意見を踏まえて多面的・多 角的な視点から問いを考察する 力を身につけさせることができ た。 ・授業の中でパネルディスカッ ションやSWOT分析を用いた 言語活動を多く実施した。 ・どの科目においても、発表や 相互鑑賞を取り入れることがで きた。(芸術科) ・対話により、考えを深める授 業展開は少なかった。
		「自分の考え をわかりやす く伝えること ができるよう に努力した」 80%以上	「自分の考え をわかりやす く伝えること ができるよう に努力した」 70%	A	・ペアワークやグループワーク を授業内で積極的に実践し、授 業内において学習内容を他の生 徒に説明させる機会を設けるこ とで、知識の定着を試みた。 ・課題研究において、自分の研 究をわかりやすく発表すること ができた。 ・外部のコンテストに 2 つ参加 をし、試行錯誤しながら「伝え る力」を育成した。 ・チャレンジや探究において、 プレゼンテーションの知識と技 術を高められた。(芸術科) ・プレゼンテーションによる発 表を含めた授業を多く展開し た。
オ	保護者や地域から信 頼される学校づくりに努める。	HP への地域 貢献活動の掲 載、更新、掲載 記事 45 件	HP は、学校行 事、生徒の活 躍、時期的なト ピックス等、幅 広く記事の提 供を行った。	A	・新 HP を契機にインスタグラム を開設した。運営方法について、 今後、検討をしていく。 ・新聞掲載、SNS、イベント 参加、学会発表を通して農業科 の教育活動を発信することがで きた。

		P T A広報誌 「桑の木だより」の年2回発行、内容の充実 (R5・R4・R3 R2:年2回発行)	予定どおり、 年2回発行できた。	A	・P T Aの登校指導や、校外指導で地域との連携や情報交換を行った。ホームページでP T Aの活動を積極的に発信した。桑の木だよりを発行した。
		オープンスクール、文化祭への来訪者の増加 R5:体験入学 606人、オープンスクール166人、猿投祭927人	・体験入学 582人 保護者178人 ・オープンスクール 145人 保護者80人 ・猿投祭 中学生とその保護者:189人 近隣住民・学校関係者:216人 生徒保護者:528人 卒業生:82人	B	・多くの中学生等に本校の特徴を伝えることができた。
		「信頼できる先生がいる」70%以上 R5:75% R4:76%、 R3:74% R2:74% 「わが子をこの学校に入れてよかった」 95%以上 R5:92% R4:95% R3:92% R2:90%	「信頼できる先生がいる」 80% 「わが子をこの学校に入れてよかった」 93%	A	・担任が窓口となり、進路相談や学校生活への相談を受け、その都度対応することができた。その際、保護者が担任への信頼を強く感じている様子がうかがえた。
		近所の人や知り合いの人に挨拶している 90%以上 R5:93% R4:91% R3:92% R2:91%	近所の人や知り合いの人に挨拶している 91%	B	・毎朝の登校指導を通じて挨拶の励行を行った。

様式第3号

カ	個性の伸長をはかり自主的・実践的態度や望ましい人間関係を形成する力を養う。	「学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた」 80%以上 R5:93% R4:89% R3:93% R2:90%	学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた 94%	B	・「生徒課だより」を5回発行し、集団においてルールを守る意義について様々な角度から問いかけた。 ・最高学年としての部活動や委員会活動、学校行事の取り組む姿勢について、その都度伝えた。生徒は、それを汲み取って充実した活動をすることができた。
		「部活動は活発で充実した活動を行っている」80%以上 R5:86% R4:84% R3:82% R2:80%	部活動は活発で充実した活動を行っている 86%	A	・大会で顕著な成績を残すことができた。(美術工芸部)
キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見 歯科及び視力治療率80%以上 R5 歯 80%・視 82% R4 歯 85%・視 75% R3 歯 83%・視 93% R2 歯 73%・視 94%	いじめに関連したアンケートを実施 SNSの正しい利用についての講演会等を実施、人権教育の実施 歯科及視力治療率 歯科 34.3% 視力 35.2%	B	・「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見に努めた。 ・スマホ依存防止のためのプログラム(保護者も参加)・生徒対象の人権教育を継続中 ・歯科・視力治療完了率が今年度の目標を下回ったのは、家庭の事情を考慮し強く推し進めることが難しかったため。
		体験型避難訓練の実施 R5:実施 R4・R3・R2:未実施 災害時の留め置き用装備品の完備と防災用具の取扱研修の実施 R5・R4・R3・R2・R1:実施	体験型防災訓練の実施 煙道訓練、消火訓練、AED・人工呼吸 予定どおり実施した。	A	・年間に3回の校内防災訓練を実施し、防災・減災の能力を高めた。 ・今年度は、防災トイレの設置に取り組んだ。

様式第 3 号

		安全点検を年 2 回以上実施 R5・R4・R3・R2: 2 回 スピーディな 修繕により事 故ゼロ R5・R4・R3・R2: 事故 0 件	怠りなく実施 した。	B	・経年劣化による故障等が多く 見られるが、施設・設備の不具 合が発生した際には速やかに現 場確認し、P F I 事業者と連携 して計画的に修繕できた。
ク	教育活動が行われる ための環境を整える とともに、業務改善に より職員の多忙化を 解消する。	光熱水費の節 約を教職員に 呼びかける。 節約した予算 を教育活動に 振り分ける。	長期化する物 価高騰等の影 響により厳し い学校経営予 算の中、事業執 行の際は、常に 内容の精査や 見直しを行い、 教員と連携し て限りある予 算の執行に取り 組んだ。なお、 新たな空調機 器の設置によ り基本料金と なる最大需要 電力、電気使 用量とも前年 度より上回っ た。	B	・電気料を始めとする長期化す る物価高騰等により、先行きが 見えにくい中で学校運営が行わ れてきた。来年度も引き続きメリ ハリのある予算執行が求められる ため、生徒・教職員への呼びかけ、 協力が不可欠である。
		定時退勤日(毎 週水曜日)の設 定 部活動の週 1 日以上の日 設定 ペーパーレス に取り組む	定時退勤の呼 びかけ、部活 動の休養日の 設定推奨など を実施した。	B	・体育館部活動の使用時間調整 等があるため、全員が同歩調 で実施できない状況にある。 ・ペーパーレスへの取り組みは、 順調である。